

今回委員の皆さまと検討したいこと

- ①精査欄の「▲」の設問は「○」（採用）にするか「×」（除外）にするか
- ②精査欄の「×」の設問はこのまま「×」（除外）でよいか、あるいは「○」（採用）に変更したほうがよいか
- ③精査欄で「○」（採用）かつ種別欄で「◎」（必須設問）ではない設問の中で、「×」（除外）してもいいのではないかな
- ④選択肢全般についてのご意見

種別の内、「◎」は必須項目（量の見込みの推計上必要な項目）（68項目）、「○」は任意項目（35項目）、「●」は市独自項目（89項目）

精査の内、「○」は設問に採用を検討（128項目）、「▲」は設問に入れるか悩ましい項目（14項目）、「×」は設問から除外を検討（50項目）

カテゴリ	NO	前回問番号	調査項目	設問のねらい	選択肢	量の見込みとの関係、備考等	前回調査回答数	精査	種別
区域	1	問1	居住地区	・保育等のニーズを地区別に推計するために把握 ・サービスの区域設定の基になる ・クロス集計に活用	1. 仙川町2～3丁目 緑ヶ丘1～2丁目 2. 菊野台2～3丁目 入間町1～3丁目 東つつじヶ丘2～3丁目 仙川町1丁目 西つつじヶ丘4丁目 若葉町1～3丁目 3. 柴崎1～2丁目 東つつじヶ丘1丁目 菊野台1丁目 西つつじヶ丘1～3丁目 深大寺東町3～4丁目 4. 佐須町1～2丁目、4～5丁目 深大寺元町2～5丁目 深大寺東町1～2丁目 深大寺南町1～5丁目 5. 深大寺北町1～7丁目 深大寺東町5～8丁目 6. 小島町1丁目 佐須町3丁目 国領町1～2丁目 布田1～2丁目 調布ヶ丘1～4丁目 深大寺元町1丁目 八雲台1～2丁目 7. 国領町3～8丁目 染地2～3丁目 8. 小島町2～3丁目 布田3～6丁目 染地1丁目 多摩川3～7丁目 9. 飛田給2～3丁目 上石原2～3丁目 下石原2～3丁目 多摩川1～2丁目 10. 飛田給1丁目 富士見町1～4丁目 上石原1丁目野水1～2丁目 下石原1丁目 西町	■サービス提供区域の分類	1,170	○	◎
	2	問1-1	学区	・保育等のニーズを地区別に推計するために把握 ・サービスの区域設定の基になる ・クロス集計に活用	1. 第一小学校2. 第二小学校3. 第三小学校4. 八雲台小学校5. 富士見台小学校6. 滝坂小学校7. 深大寺小学校8. 上ノ原小学校 9. 石原小学校10. 若葉小学校11. 緑ヶ丘小学校12. 染地小学校13. 北ノ台小学校14. 多摩川小学校15. 杉森小学校16. 飛田給小学校 17. 柏野小学校18. 国領小学校19. 布田小学校20. 調和小学校	■サービス提供区域の分類	1,134	○	◎
家族の状況	3	問2	子どもの年齢	・あて名の子どもの年齢を把握 ・年齢別の推計ニーズ量を算出する際に活用	(0歳, 1歳, 2歳, 3歳, 4歳, 5歳以上) (令和5年 月 日時点)	■対象年齢の分類	1,177	○	◎
	4	問3	兄弟姉妹の人数	・世帯の子どもの人数及び年齢層を把握 ・クロス集計に活用	1人, 2人, 3人, 4人, 5人以上	■家庭類型の分類	1,166	○	○
			末子の年齢	・世帯の子どもの人数及び年齢層を把握 ・クロス集計に活用	(0歳, 1歳, 2歳, 3歳, 4歳, 5歳, 6歳) (令和5年 月 日時点)	■家庭類型の分類	1,146	○	○
	5		子どもの障害の有無	・障害の有無の把握	1.有 2.無	■家庭類型の分類			▲ ●
	6	問4	調査票の回答者	・回答者の属性を把握	1. 母親2. 父親3. その他 ()	■家庭類型の分類	1,180	○	◎
	7	問5	回答者の配偶関係	・子どもの家族の状況把握 (ひとり親か否かを把握)	1. 配偶者がいる2. 配偶者がいない3.婚姻はしていないが同居のパートナーがいる	■家庭類型の分類	1,154	○	◎
	8		同居家族の状況(子どもからみた関係)	・子どもの家族状況の把握 (同居の有無等)	1. 父母同居2. ひとり親家庭 (母子家庭) 3. ひとり親家庭 (父子家庭) 4. 祖父母同居5. 祖父同居6. 母単身赴任中7. 父単身赴任中8. その他 ()			○	●
	9		家族等の介護・看病の有無	・家族の介護等の把握	1.有(同居) 2. 有(別居) 3.無			○	●
	10	問5-1	配偶者がいない(母子家庭・父子家庭)理由	・母子・父子家庭の状況を把握	1. 死別 2. 離婚 3. 未婚・非婚 4. その他 ()		20	×	●
	11	問5-2	母子家庭・父子家庭になった時の年齢	・母子・父子家庭の状況を把握	1. 24歳以上2. 25歳～30歳3. 31歳～35歳4. 36歳～40歳5. 41歳～45歳6. 46歳以上		19	×	●
	12	問5-3	母子・父子家庭になる前の働き方	・母子・父子家庭の状況を把握	1. 仕事はしていない2. 正社員(フルタイム) 3. パート・アルバイト等4. 派遣社員5. 事業主6. その他 ()		21	×	●
	13		現在の働き方	・母子・父子家庭の状況を把握	1. 仕事はしていない2. 正社員(フルタイム) 3. パート・アルバイト等4. 派遣社員5. 事業主6. その他 ()		20	×	●
	子育ての環境	14	問6	子育てを主にやっている人	・保育等のニーズの発生に最も影響が大きい保護者を特定	1. 父母ともに2. 主に母親3. 主に父親4. 主に祖父母5. その他 ()		1,178	○
15			子育て・子どもの育ちに最も影響する環境	・子育て・子育てへの影響を把握	1. 家庭2. 地域3. 幼稚園4. 保育所5. 習い事など6. 療育機関7. その他 ()			×	○
16		問7	日頃、子どもをみてもらえる親族・知人	・子育ての実態を把握	1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる5. いずれもない		1,172	○	○
17			子どもをみてもらえる親族・知人の状況	・子育ての実態を把握 ・問8交通手段削除	1.身体的・精神的な負担や時間的制約が大きく心配である2. 負担をかけていることが心苦しい3. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある4. 身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる5. その他 ()			×	○
18		問8	子どもをみてもらえる親族・友人・知人(1)	・子育ての実態を把握	1. 親族 2. 友人・知人		865	×	●
19			自宅まで来てくれる際の主な交通手段(1)		1. 徒歩2. 自転車3. 車(オートバイ含む) 4. 電車・路線バス		844	×	●
20			子どもをみてもらえる親族・友人・知人(2)		1. 親族 2. 友人・知人		550	×	●
21			自宅まで来てくれる際の主な交通手段(2)		1. 徒歩2. 自転車3. 車(オートバイ含む) 4. 電車・路線バス		540	×	●
22	子どもをみてもらえる親族・友人・知人(3)		1. 親族 2. 友人・知人			273	×	●	
23	自宅まで来てくれる際の主な交通手段(3)		1. 徒歩2. 自転車3. 車(オートバイ含む) 4. 電車・路線バス			273	×	●	

種別の内、「○」は必須項目(量の見込みの推計上必要な項目)(68項目)、「○」は任意項目(35項目)、「●」は市独自項目(89項目)

精査の内、「○」は設問に採用を検討(128項目)、「▲」は設問に入れるか悩ましい項目(14項目)、「×」は設問から除外を検討(50項目)

カテゴリ	NO	前回問番号	調査項目	設問のねらい	選択肢	量の見込みとの関係、備考等	前回調査回答数	精査	種別	
保護者の就業状況	24	問9	世帯の年収(税込)	・世帯の状況を把握	1. 収入なし 2. 100万円未満 3. 100万円～200万円未満 4. 200万円～300万円未満 5. 300万円～400万円未満 6. 400万円～500万円未満 7. 500万円～600万円未満 8. 600万円～700万円未満 9. 700万円～800万円未満 10. 800万円～1,000万円未満 11. 1,000万円以上		1,140	○	●	
	25		家庭において経済的な理由で持っていないもの	・世帯の経済状況を把握	1. 子どもの年齢に合った本 2. 子ども用のスポーツ用品・おもちゃ 3. 子どもが自宅で勉強をすることができる場所 4. 洗濯機 5. 炊飯器 6. 掃除機 7. 冷暖房機器 8. 電子レンジ 9. 電話(固定電話・携帯電話を含む) 10. インターネットにつながるパソコン 11. 世帯専用のおふろ 12. 世帯人数分のベッドまたは布団 13. 子どもの送迎や買い物に利用する自転車 14. 急な出費のための貯金(5万円以上) 15. あてはまるものはない			○	●	
	26		経済的理由で諦めた経験(直近1年)	・世帯の経済状況を把握	1.衣類の購入, 2.食料の購入(食事の量や回数を減らした), 3.家賃の支払い, 4.住宅ローンの支払い, 5.光熱水費の支払い, 6.電話料金の支払い, 7.その他経費の支払い			○	●	
	27	問11	出産前後(前後それぞれ1年以内)に離職したか	・保護者の離職状況を把握	1. 離職した 2. 継続的に働いていた(転職・産休も含む) 3. 出産1年前には働いていなかった		1,169	○	●	
	28	問11-1	離職した主な理由	・保護者の離職状況を把握	1. 勤務時間が合いそうもなかった(合わなかった) 2. 職場に両立を支援する雰囲気なかった 3. 育児休業を取れそうもなかった(取れなかった) 4. 子どもの病気等で度々休まざるを得なかった 5. 保育園等に子どもを預けられそうもなかった(預けられなかった) 6. 会社に育児休業制度がなかった 7. つわりや産後の不調など妊娠・出産にともなう体調不良のため 8. 家族がやめることを希望した 9. その他()		256	○	●	
	29	問11-2	どのような環境が整っていたら、就労を継続したか	・保護者の離職しないための条件を把握	1. 妊娠・出産をしたら離職する予定であった 2. 職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整っており、制度を利用しやすい職場環境がある 3. 家族の理解があり、妊娠・出産・育児をサポートしてくれる 4. 保育所等の保育施設を利用できる見込みがある 5. その他()		253	○	●	
	30	問12(1)	母親：保護者の現在の就業状況	・保護者の就業実態を把握	1. 以前は就労していたが、現在は就労していない 2. これまで就労したことがない 3. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない 4. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である 5. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない 6. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	■家庭類型の分類	1,177	○	◎	
	31		母親：1週当たりの「就業日数」		週1日, 週2日, 週3日, 週4日, 週5日, 週6日, 週7日	■家庭類型の分類	705	○	◎	
	32	問12(1)-1	(母親)在宅勤務(テレワーク)の状況		週1日, 週2日, 週3日, 週4日, 週5日, 週6日, 週7日				×	●
	33		母親：1日当たりの「就業時間(残業時間を含む)」		2時間未満, 2~4時間未満, 4~6時間未満, 6~8時間未満, 8時間, 9時間, 10時間, 11時間, 12時間以上	■家庭類型の分類	705	○	◎	
	34	問12(2)	父親：保護者の現在の就業状況		1. 以前は就労していたが、現在は就労していない 2. これまで就労したことがない 3. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない 4. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である 5. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない 6. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	■家庭類型の分類	1,111	○	◎	
	35		父親：1週当たりの「就業日数」		週1日, 週2日, 週3日, 週4日, 週5日, 週6日, 週7日	■家庭類型の分類	1,034	○	◎	
	36	問12(2)-1	(父親)在宅勤務(テレワーク)の状況		週1日, 週2日, 週3日, 週4日, 週5日, 週6日, 週7日				×	●
	37		父親：1日当たりの「就業時間(残業時間を含む)」		2時間未満, 2~4時間未満, 4~6時間未満, 6~8時間未満, 8時間, 9時間, 10時間, 11時間, 12時間以上	■家庭類型の分類	1,021	○	◎	
	38	問13(1)	母親：フルタイムへの転換希望	・保護者の就業実態を把握 ・フルタイム希望(潜在的な保育ニーズ)の把握	1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない 3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望 4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい ☞フルタイムをやめて子育てや家事に専念したい	■家庭類型の分類	165	○	◎	
	39	問13(2)	父親：フルタイムへの転換希望		1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある 2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない 3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望 4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい ☞フルタイムをやめて子育てや家事に専念したい	■家庭類型の分類	9	○	◎	
	40	問14(1)	母親：就業希望	・保護者の就業実態を把握 ・親の将来就業ニーズ(潜在的な保育ニーズ)の把握	1. 子育てや家事などに専念したい(就業の予定はない) 2. 1年より先、一番下の子どもが □□歳になったときに就労したい 3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい	■家庭類型の分類	372	○	◎	
	41		母親：就業希望時期：末子の年齢		一番下の子どもが (0~1歳, 2歳, 3歳, 4歳, 5歳, 6歳, 7歳, 8歳, 9歳, 10歳, 11歳, 12歳以上) になったときに就労したい	■家庭類型の分類	158	○	◎	
	42		母親：就業希望形態		ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労) イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外) ☞一斉一斉希望したい	■家庭類型の分類	81	○	◎	
	43		母親：アルバイト等で就業希望：希望就業日数/週		週1日, 週2日, 週3日, 週4日, 週5日, 週6日, 週7日	■家庭類型の分類	66	○	◎	
	44		母親：アルバイト等で就業希望：希望就業時間/日		2時間未満, 2~4時間未満, 4~6時間未満, 6~8時間未満, 8時間, 9時間, 10時間, 11時間, 12時間以上	■家庭類型の分類	68	○	◎	
	45		父親：就業希望		1. 子育てや家事などに専念したい(就業の予定はない) 2. 1年より先、一番下の子どもが □□歳になったときに就労したい 3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい	■家庭類型の分類	5	○	◎	
	46		父親：就業希望時期：末子の年齢		一番下の子どもが (0~1歳, 2歳, 3歳, 4歳, 5歳, 6歳, 7歳, 8歳, 9歳, 10歳, 11歳, 12歳以上) になったときに就労したい	■家庭類型の分類	0	○	◎	
	47		父親：就業希望形態		ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労) イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外) ☞一斉一斉希望したい	■家庭類型の分類	4	○	◎	
	48		父親：アルバイト等で就業希望：希望就業日数/週		週1日, 週2日, 週3日, 週4日, 週5日, 週6日, 週7日	■家庭類型の分類	0	○	◎	
	49	父親：アルバイト等で就業希望：希望就業時間/日	2時間未満, 2~4時間未満, 4~6時間未満, 6~8時間未満, 8時間, 9時間, 10時間, 11時間, 12時間以上	■家庭類型の分類	0	○	◎			

種別の内、「◎」は必須項目(量の見込みの推計上必要な項目)(68項目)、「○」は任意項目(35項目)、「●」は市独自項目(89項目)

精査の内、「○」は設問に採用を検討(128項目)、「▲」は設問に入れるか悩ましい項目(14項目)、「×」は設問から除外を検討(50項目)

カテゴリ	NO	前問番号	調査項目	設問のねらい	選択肢	量の見込みとの関係、備考等	前回調査回答数	精査	種別	
育児休業・職場復帰	50	問30	(母親)子どもが生まれた時、育児休業を取得したか	・子育ての実態を把握 ・今後の施策検討に活用	1. 働いていなかった2. 取得した(取得中である)3. 取得していない	■現在の育児休業の取得状況 ※設問統合	1,177	×	○	
	51		(母親)子どもが生まれた時の育児休業取得期間		~3か月, 4~6か月, 7~12ヶ月, 13~18か月, 19~24か月, 25~30か月, 31~36か月, 37か月以上, 働いていなかった, 取得していない	■現在の育児休業の取得状況 ※設問統合	361	○	○	
	52		(母親)育児休業を取得していない理由		1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった2. 仕事が忙しかった3. (産休後に)仕事に早く復帰したかった4. 仕事に戻るのが難しかった5. 昇給・昇格などが遅れそうだった6. 収入減となり、経済的に苦しくなる7. 保育所(園)などに預けることができた8. 1歳から利用できる事業があるか不安だった9. 配偶者が育児休業制度を利用した10. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった11. 子育てや家事に専念するため退職した12. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)13. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった14. 育児休業を取得できることを知らなかった15. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した16. その他()	■現在の育児休業の取得状況	119	▲	○	
	53		(父親)子どもが生まれた時、産後パパ育児・育児休業を取得したか		1. 働いていなかった2. 取得した(取得中である)3. 取得していない	■現在の育児休業の取得状況 ※設問統合	1,124	×	○	
	54		(父親)産後パパ育児・育児休業取得期間		~3か月, 4~6か月, 7~12ヶ月, 13~18か月, 19~24か月, 25~30か月, 31~36か月, 37か月以上, 働いていなかった, 取得していない	■現在の育児休業の取得状況 ※設問統合	73	○	○	
	55		(父親)産後パパ育児・育児休業を取得していない理由		1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった2. 仕事が忙しかった3. 仕事に戻るのが難しかった4. 昇給・昇格などが遅れそうだった5. 収入減となり、経済的に苦しくなる6. 保育所(園)などに預けることができた7. 1歳から利用できる事業があるか不安だった8. 配偶者が育児休業制度を利用した9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった10. 子育てや家事に専念するため退職した11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった13. 育児休業を取得できることを知らなかった14. その他()	■現在の育児休業の取得状況	999	▲	○	
	56	問30-1	(母親)育児休業取得後、職場に復帰したか	・子育ての実態を把握	1. 育児休業取得後、職場に復帰した 2. 現在も育児休業中である 3. 育児休業中に離職した		563	▲	○	
	57		(父親)産後パパ育児・育児休業取得後、職場に復帰したか		1. 育児休業取得後、職場に復帰した 2. 現在も育児休業中である 3. 育児休業中に離職した		72	▲	○	
	子育てのイメージ/不安・悩み等	58	問30-2	(母親)実際の育児休業復帰時の子どもの年齢:歳か月	・子育ての実態と希望を把握	~3か月, 4~6か月, 7か月~1歳, 1歳1か月~1歳6か月, 1歳7か月~2歳, 2歳1か月~2歳6か月, 2歳7か月~3歳, 3歳1か月以上		434	○	○
		59		(母親)理想の育児休業復帰時の子どもの年齢:歳か月		~3か月, 4~6か月, 7か月~1歳, 1歳1か月~1歳6か月, 1歳7か月~2歳, 2歳1か月~2歳6か月, 2歳7か月~3歳, 3歳1か月以上	■必ず預け先として利用できる事業がある場合等の保育ニーズ	452	○	○
60		(父親)実際の産後パパ育児・育児休業復帰時の子どもの年齢:歳か月		~3か月, 4~6か月, 7か月~1歳, 1歳1か月~1歳6か月, 1歳7か月~2歳, 2歳1か月~2歳6か月, 2歳7か月~3歳, 3歳1か月以上			44	○	○	
61		(父親)理想の産後パパ育児・育児休業復帰時の子どもの年齢:歳か月		~3か月, 4~6か月, 7か月~1歳, 1歳1か月~1歳6か月, 1歳7か月~2歳, 2歳1か月~2歳6か月, 2歳7か月~3歳, 3歳1か月以上		■必ず預け先として利用できる事業がある場合等の保育ニーズ	40	○	○	
62		(母親父親共通)子どもの預け先が確保されている場合の職場復帰の希望時期 子どもの年齢:歳か月		・子育ての実態と希望を把握		~3か月, 4~6か月, 7か月~1歳, 1歳1か月~1歳6か月, 1歳7か月~2歳, 2歳1か月~2歳6か月, 2歳7か月~3歳, 3歳1か月以上	■必ず利用できる事業がある場合の保育ニーズ		×	○
63	(母親父親共通)職場復帰時の保育園入園の時期	・子育ての実態を把握	1.年度初めの時期2.それ以外だった				×	○		
子育てのイメージ/不安・悩み等	64		子育ては楽しいか	・子育ての実態を把握	1. 楽しいと感じることの方が多い2. 楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい3. 辛いと感じることの方が多い4. 当てはまるものはない			▲	●	
	65		子育ての不安や悩み	・子育ての実態を把握	1. 自分の時間がとれず、自由がない2. 子育てにおわれ、社会から孤立するようになる3. 子育てと仕事・キャリアとの両立が難しい4. 子育てと親等の介護が同時に発生している5. 夫婦あるいは家族の間で子育てについての考えが違う6. 配偶者の子育てへのかわりが少ない7. 子どもの健康、性格や癖などについて心配である8. 子どもの進路や進学のこと心配9. 子育てに伴う経済的な負担が大きい10. 子どもを邪魔に感じるときがある11. 子どもの発達について心配である12.子どもの障害について心配である13. 特に不安や悩みはない			○	●	
	66	問10	子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人(場所・先)	・子育ての実態を把握	1. 家族や親族2. 友人や知人3. 近所の人4. 子育て支援施設(児童館の子育てひろば等)5. 保健センター6. 保育所・幼稚園7. 保育所・幼稚園等の他の保護者8. 民生委員・児童委員9. かかりつけの医師10. 子育てサークル11. 子ども家庭支援センターすこやか12. 子ども発達センター13.社会福祉協議会(地域)福祉コーディネーター14. 自治体の子育て関連担当窓口15.職場の人16.SNSやインターネット上で相談する17.相談相手がない18.相談する機関がわからない19.相談することがない20. その他()		1,180	○	○	
	67	問10-1	子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先	・子育ての実態を把握	1. いる/ある2. いない/ない	前回設問の問10に統合	1,125	×	○	
	68		周りに地域との繋がりが交流が図れる地域交流の場はありますか。	・地域の繋がりの把握	1. 自治会, 2. 子ども食堂3. 子ども会4. 地区協議会5. 認可保育園や幼稚園等が実施する地域交流事業6. 地域で行っている子育て支援活動7. その他()8. 当てはまるものはない			○	●	
	69		周りに地域との繋がりが交流が図れる地域交流の場は必要か	・地域の繋がりの把握	1. はい2. いいえ			○	●	
	70		理想の子ども数の人数と現実的に育てられる子どもの人数	・少子化対策の検討	1人, 2人, 3人, 4人, 5人以上			○	●	
71		現実的に育てられる子どもの人数が理想より少ない理由	・少子化対策の検討	1. 子育ての体力的負担が大きい2. 子育ての経済的負担が大きい3. 子育ての心理的負担が大きい4. 年齢的な理由で難しい5. やりたいことができなくなる6. 仕事と子育ての両立が難しい7. 教育をめぐる状況に対して不安8. 将来の教育費の負担が不安9. 家が狭い10. 体調等の理由			○	●		

種別の内、「○」は必須項目(量の見込みの推計上必要な項目)(68項目)、「○」は任意項目(35項目)、「●」は市独自項目(89項目)

精査の内、「○」は設問に採用を検討(128項目)、「▲」は設問に入れるか悩ましい項目(14項目)、「×」は設問から除外を検討(50項目)

カテゴリ	NO	前問番号	調査項目	設問のねらい	選択肢	量の見込みとの関係、備考等	前回調査回答数	精査	種別
幼稚園・保育園等の利用状況(平日の定期的利用)	72	問15	幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育の事業」の利用の有無	・事業の利用実態を把握	1. 利用している 2. 利用していない	■ 2号認定(幼児期の学校教育の利用希望が強いと想定されるもの) ■ 2号認定(認定こども園及び保育所)	1,186	○	◎
	73	問15-1	平日に利用している教育・保育の事業	・事業の利用実態を事業別に把握	1.幼稚園(通常の就園時間の利用) 2.幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ) 3.認可保育所(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの) 4.認定こども園(※現在調布市にはありません)(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設) 5.子ども・子育て支援新制度における小規模な保育施設(国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6~19人のもの) 6.家庭福祉員(保育ママ)(保育者の家庭等で子どもを保育する事業) 7.グループ型保育施設(共同実施型家庭的保育事業)(複数の家庭福祉員が同一の建物で子どもを保育する事業) 8.事業所内保育施設(企業が主に従業員用に運営する施設) 9.東京都認証保育所(東京都が定めた保育所基準を満たし、東京都が認証した施設) 10.その他の認可外の保育施設 11.居宅訪問型保育(ベビシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業) 12.ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業) 13.定期利用保育事業(パートタイマーや時短勤務者等の保育需要に対応した、複数月にわたり継続して保育する事業) 14.その他()	■ 2号認定(幼児期の学校教育の利用希望が強いと想定されるもの) ■ 2号認定(認定こども園及び保育所) ■ 幼稚園における在園児を対象とした一時預かり(預かり保育) ① 1号認定による利用	851	○	◎
	74	問15-2	教育・保育にかかる負担が無償となった場合、現在利用しているものから利用変更したいと思うもの	・教育・保育の無償化の影響を把握	1.幼稚園(通常の就園時間の利用) 2.幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ) 3.認可保育所(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの) 4.認定こども園(※現在調布市にはありません)(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設) 5.子ども・子育て支援新制度における小規模な保育施設(国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6~19人のもの) 6.家庭福祉員(保育ママ)(保育者の家庭等で子どもを保育する事業) 7.グループ型保育施設(共同実施型家庭的保育事業)(複数の家庭福祉員が同一の建物で子どもを保育する事業) 8.事業所内保育施設(企業が主に従業員用に運営する施設) 9.東京都認証保育所(東京都が定めた保育所基準を満たし、東京都が認証した施設) 10.その他の認可外の保育施設 11.居宅訪問型保育(ベビシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業) 12.ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業) 13.定期利用保育事業(パートタイマーや時短勤務者等の保育需要に対応した、複数月にわたり継続して保育する事業) 14.その他()		495	▲	○
	75	問15-3(1)	(現在)平日に定期的にご利用している教育・保育の事業の利用頻度/週	・事業の利用実態を把握 ・事業の利用希望を把握	週1日、週2日、週3日、週4日、週5日、週6日、週7日		851	○	◎
	76		(現在)平日に定期的にご利用している教育・保育の事業の利用時間		2時間未満、2~4時間未満、4~6時間未満、6~8時間未満、8時間、9時間、10時間、11時間、12時間以上		848	○	◎
	77		(現在)平日に定期的にご利用している教育・保育の事業の開始・終了時刻		(7時より前、7時台、8時台、9時台、10時以降)~(14時より前、14時台、15時台、16時台、17時台、18時台、19時台、20時台、21時以降)		847	○	◎
	78		(希望)平日に定期的にご利用したい教育・保育の事業の利用頻度/週		週1日、週2日、週3日、週4日、週5日、週6日、週7日	■ 時間外保育事業	855	○	◎
	79		(希望)平日に定期的にご利用したい教育・保育の事業の利用時間		2時間未満、2~4時間未満、4~6時間未満、6~8時間未満、8時間、9時間、10時間、11時間、12時間以上	■ 時間外保育事業	736	○	◎
	80		(希望)平日に定期的にご利用したい教育・保育の事業の開始・終了時刻		(7時より前、7時台、8時台、9時台、10時以降)~(14時より前、14時台、15時台、16時台、17時台、18時台、19時台、20時台、21時以降)	■ 時間外保育事業	732	○	◎
	81	問15-4	利用している教育・保育事業の実施場所	・事業の利用実態を把握	1. 調布市内 2. 他の市区町村		849	×	○
	82	問15-5	平日に定期的な教育・保育の事業を利用している理由	・事業の利用実態を把握 ・ニーズ推計の算出にあたって優先順位をつける際に活用	1. 子どもの教育のため 2. 子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している 3. 子育て(教育を含む)をしている方が就労予定がある/求職中である 4. 子育て(教育を含む)をしている方が家族・親族などを介護している 5. 子育て(教育を含む)をしている方が病気や障害がある 6. 子育て(教育を含む)をしている方が学生である 7. その他()		839	▲	○
	83	問15-6	利用していない理由	・事業の利用実態を把握	1. (子どもの教育のため、子どもの母親が父親が就労していないなどの理由で)利用する必要がない 2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている 3. 近所の人や父母の友人・知人がみている 4. 利用したいが、保育・教育の事業の定員に空きがない 5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない 6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない 7. 利用したいが、事業の内容や場所など、納得できる事業がない 8. 子どもがまだ小さいため 9. その他()		327	○	○
	84		□歳くらいになったら利用したい		(0歳、1歳、2歳、3歳、4歳、5歳)くらいになったら利用しようと考えている		157	▲	○
	85	問16	平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと思う事業	・事業の利用希望を把握	1. 特に利用したいサービスはない 2. ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業) 3. 定期利用保育事業(パートタイマーや時短勤務者等の保育需要に対応した、複数月にわたり継続して保育する事業) 4. 幼稚園(通常の就園時間の利用) 5. 幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ) 6. 認可保育所(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの) 7. 認定こども園(※現在調布市にはありません)(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設) 8. 子ども・子育て支援新制度における小規模な保育施設(国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6~19人のもの) 9. 家庭福祉員(保育ママ)(保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業) 10. グループ型保育施設(共同実施型家庭的保育事業)(複数の家庭福祉員が同一の建物で子どもを保育する事業) 11. 事業所内保育施設(企業が主に従業員用に運営する施設) 12. 東京都認証保育所(東京都が定めた保育所基準を満たし、東京都が認証した施設) 13. その他の認可外の保育施設 14. 居宅訪問型保育(ベビシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業) 15. その他()	■ 1号認定(認定こども園及び幼稚園) ■ 2号認定(認定こども園及び保育所) ■ 3号認定(認定こども園及び保育所+地域型保育) ■ 時間外保育事業 ■ 幼稚園における在園児を対象とした一時預かり(預かり保育) ① 1号認定による利用	1,170	○	◎
86	問16-1	平日の教育・保育の事業として、「定期的な」利用を希望する上で重視する条件	・事業の利用条件を把握	1. 子どもの教育をしてくれる 2. 保育の内容や指針が希望にあう 3. 教員・保育者の印象がよい 4. 施設や設備が充実している 5. 園庭がある 6. 安心して預けられる 7. 保育時間が利用希望に合う 8. 認可されている施設である 9. 保育料が適切である 10. 親が運営・行事に関わる機会が多い 11. 自宅からの距離が近い 12. 利用する駅や職場からの距離が近い 13. 給食がある 14. 通園バスがある 15. きょうだいが通っている 16. 周囲の子が通っている 17. 支援・サービスが充実している 18. 家ではできないような体験ができる 19. 健康・安全など生活に必要な習慣が身につく 20. 子どもが元気に遊べる 21. その他()		1,127	○	●	
87	問16-2	幼稚園を利用していない理由	・事業の利用希望を把握	1. 長時間の預り保育がない 2. 夏休みなど長期休暇中の預り保育がない 3. 時間の制約により送り迎えが出来ない 4. スクールバスの通園手段の利便性が悪い 5. 給食やおやつを提供が無い 6. 3年保育が無い 7. 費用負担が大きい 8. その他() 9. 特に理由はない		705	○	●	
88		上記理由がない場合、幼稚園(幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む)の利用を強く希望するか	・事業の利用希望を把握	1.はい 2.いいえ	共働き等家庭のこどもの幼稚園・預かり保育の利用等、幼児期の学校教育の利用希望の強いもの利用希望		○	○	
89		「幼稚園」を利用する場合、希望の年齢		(満1歳以下、満1歳、満2歳、満3歳以上)			○	●	
90		(平日)「幼稚園」を利用する場合、希望日		週1日、週2日、週3日、週4日、週5日、週6日、週7日			×	●	
91		(平日)「幼稚園」を利用する場合利用希望時間		2時間未満、2~4時間未満、4~6時間未満、6~8時間未満、8時間、9時間、10時間、11時間、12時間以上			×	●	
92	問16-3	(平日)「幼稚園」を利用する場合利用希望開始時刻・終了時刻		(7時より前、7時台、8時台、9時台、10時以降)~(14時より前、14時台、15時台、16時台、17時台、18時台、19時台、20時台、21時以降)		485	○	●	
93		(休日)「幼稚園」を利用する場合、希望日数	・事業の利用希望を把握	月1日、月2日、月3日、月4日、月5日、月6日、月7日、月8日以上			×	●	
94	問16-3	(休日)「幼稚園」を利用する場合、利用希望開始時刻・終了時刻		(7時より前、7時台、8時台、9時台、10時以降)~(14時より前、14時台、15時台、16時台、17時台、18時台、19時台、20時台、21時以降)		485	○	●	
95		幼稚園での夏休み・冬休み等の長期休暇中の預かり保育の利用希望		利用希望はない、週1日、週2日、週3日、週4日、週5日、週6日、週7日	必須項目となっているものの量の見込みでは使用しない		▲	◎	
96		幼稚園での夏休み・冬休み等の長期休暇中の預かり保育の希望開始時刻・終了時刻		(7時より前、7時台、8時台、9時台、10時以降)~(14時より前、14時台、15時台、16時台、17時台、18時台、19時台、20時台、21時以降)	必須項目となっているものの量の見込みでは使用しない		▲	◎	

種別の内、「◎」は必須項目(量の見込みの推計上必要な項目)(68項目)、「○」は任意項目(35項目)、「●」は市独自項目(89項目)

精査の内、「○」は設問に採用を検討(128項目)、「▲」は設問に入れるか悩ましい項目(14項目)、「×」は設問から除外を検討(50項目)

カテゴリ	NO	前問番号	調査項目	設問のねらい	選択肢	量の見込みとの関係、備考等	前回調査回答数	精査	種別	
幼稚園・保育園等の利用状況(休日の定期的利用)	97	問21	(土曜日)定期的な教育・保育の事業の利用希望日数	・事業の利用希望を把握	利用希望はない、月1日、月2日、月3日、月4日以上	必須項目となっているものの量の見込みでは使用しない		×	◎	
	98		(土曜日)定期的な教育・保育の事業の希望開始時刻・終了時刻		(7時より前、7時台、8時台、9時台、10時以降)～(14時より前、14時台、15時台、16時台、17時台、18時台、19時台、20時台、21時以降)	必須項目となっているものの量の見込みでは使用しない		×	◎	
	99		日曜・祝日の定期的な教育・保育の事業の利用希望日数		利用希望はない、月1日、月2日、月3日、月4日以上	必須項目となっているものの量の見込みでは使用しない		×	◎	
	100		(日曜・祝日)定期的な教育・保育の事業の希望開始時刻・終了時刻		(7時より前、7時台、8時台、9時台、10時以降)～(14時より前、14時台、15時台、16時台、17時台、18時台、19時台、20時台、21時以降)	必須項目となっているものの量の見込みでは使用しない		×	◎	
	101	利用したい理由	1. 子育て(教育を含む)をしている方が土・日・祝日に現在就労している 2. 子育て(教育を含む)をしている方が土・日・祝日に就労予定がある/求職中である 3. 子育て(教育を含む)をしている方が家族・親族などを介護している 4. 子育て(教育を含む)をしている方が病気や障害がある 5. 子育て(教育を含む)をしている方が学生である 6. その他()			×	○			
子育て支援事業の利用状況	102	問17	地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり、相談をする場)の利用状況	・事業の利用希望を把握	1. 利用している。 2. その他類似の事業を利用している(具体名:) 3. 利用していない	■地域子育て支援拠点事業	1,157	○	◎	
	103		地域子育て支援拠点事業の利用頻度: 回/週		週1日、週2日、週3日、週4日、週5日、週6日、週7日	■地域子育て支援拠点事業	80	○	◎	
	104		その他類似事業の利用頻度: 回/週		週1日、週2日、週3日、週4日、週5日、週6日、週7日	■地域子育て支援拠点事業	8	○	◎	
	105	問18	地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり、相談をする場)についての、今後の利用意向	・事業の利用希望を把握	1. 利用したい 2. その他類似の事業を利用したい(具体名:) 3. 利用しない	■地域子育て支援拠点事業	1,141	○	◎	
	106		新たに利用したい希望利用頻度: 回/週		週1日、週2日、週3日、週4日、週5日、週6日、週7日	■地域子育て支援拠点事業	74	○	◎	
	107		今後増やしたい希望利用頻度: 回/週		週1日、週2日、週3日、週4日、週5日、週6日、週7日	■地域子育て支援拠点事業	50	○	◎	
子育て支援サービス	108	問19	子育てに関する情報をどこ(誰・何)から入手しているか	・子育ての実態を把握	1. 親族 2. 近所の人、知人、友人 3. 子育てサークルの仲間 4. 保育所、幼稚園、学校 5. 市役所や市の機関の窓口 6. 市の広報紙やパンフレット 7. 市のホームページ 8. 市のフェイスブックやインスタグラム 9. 市のLINE 10. テレビ、ラジオ、新聞 11. 子育て雑誌 12. インターネット(パソコン利用) 13. インターネット(ケータイ・スマホ利用) 14. 調布子育て支援サイト「コサイト」 15. その他() 16. 情報の入手先がわからない		1,181	○	●	
	109	問19-1	子育てに関して必要な情報	・子育ての実態を把握	1. 子どもの発達や育児、しつけについて 2. 子ども向けイベント情報 3. 医療機関情報 4. 公園などの遊び場の情報 5. 病気や障害に関する相談窓口 6. 子育てサークルなどの情報 7. 心理的ストレスに対する窓口 8. 絵本など子ども向け書籍の紹介 9. アレルギーを持つ子ども向けの情報 10. 乳幼児を連れて行きやすい飲食店情報 11. 子育てに優しい、子育てしやすいすまいるに関する情報 12. 保育所の紹介・特徴 13. その他()		149	○	●	
	110	問19-2	子育てに関する情報をどこから入手したいか	・子育ての実態を把握	1. インターネット 2. 市役所や市の機関の窓口 3. 市の広報紙やパンフレット 4. 市のホームページ 5. 市のLINE、Facebook、インスタグラム等SNS 6. テレビ、ラジオ、新聞 7. 調布子育て支援サイト「コサイト」 8. その他()		1,174	○	●	
	111	問20 A	A: 認知状況	・認知度把握	①保健センターの情報・相談事業①-1 こんには赤ちゃん訪問事業①-2 もうすぐママ・パパ教室 ①-3 スキンケア教室・7か月から9か月児のもぐもぐ離乳食講座・こどもの相談室①-4 こども歯科相談室②児童館等の子育てひろば③プレイセンターちょうふ・プレイセンターせんがわ④教育相談所の相談事業⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放⑥保育所の育児相談⑦子ども発達センター⑧子ども家庭支援センターすこやか⑨子育て支援情報誌「元気に育て!!調布っ子」⑩調布子育て支援サイト「コサイト」⑪子育てカフェ aona⑫子ども食堂⑬地域交流スペースまんなか	■利用者支援事業	1,111	○	◎	
	112	問20 B	B: 利用経験	・個別事業の利用状況を把握	①保健センターの情報・相談事業①-1 こんには赤ちゃん訪問事業①-2 もうすぐママ・パパ教室 ①-3 スキンケア教室・7か月から9か月児のもぐもぐ離乳食講座・こどもの相談室①-4 こども歯科相談室②児童館等の子育てひろば③プレイセンターちょうふ・プレイセンターせんがわ④教育相談所の相談事業⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放⑥保育所の育児相談⑦子ども発達センター⑧子ども家庭支援センターすこやか⑨子育て支援情報誌「元気に育て!!調布っ子」⑩調布子育て支援サイト「コサイト」⑪子育てカフェ aona⑫子ども食堂⑬地域交流スペースまんなか	■利用者支援事業	1,135	○	◎	
	113	問20 C	C: 利用希望(①-1 赤ちゃん訪問事業)	・個別事業の利用希望を把握	①保健センターの情報・相談事業①-1 こんには赤ちゃん訪問事業①-2 もうすぐママ・パパ教室 ①-3 スキンケア教室・7か月から9か月児のもぐもぐ離乳食講座・こどもの相談室①-4 こども歯科相談室②児童館等の子育てひろば③プレイセンターちょうふ・プレイセンターせんがわ④教育相談所の相談事業⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放⑥保育所の育児相談⑦子ども発達センター⑧子ども家庭支援センターすこやか⑨子育て支援情報誌「元気に育て!!調布っ子」⑩調布子育て支援サイト「コサイト」⑪子育てカフェ aona⑫子ども食堂⑬地域交流スペースまんなか	■利用者支援事業	1,019	○	◎	
	114	問23	この1年間に、病気やケガで通常の事業が利用できなかったこと	・病児・病後児保育の推計ニーズ量の把握	1. あった 2. なかった	■病児保育事業、子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター事業[病児・緊急対応強化事業])	812	○	◎	
	子どもの病気の時の状況	115	問23-1	病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法	・病児・病後児保育の推計ニーズ量の把握	1. 父親が休んだ 2. 母親が休んだ 3. (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった 4. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた 5. 病児・病後児の保育を利用した 6. ベビーシッターを利用した 7. ファミリー・サポート・センターを利用した 8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた 9. その他()	■病児保育事業、子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター事業[病児・緊急対応強化事業])	652	○	◎
		116		上記1,2と回答した人それぞれの休んだ日数		3日以内、4～5日、6～10日、11～15日、16～20日、21～25日、26～30日、31日以上	■病児保育事業、子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター事業[病児・緊急対応強化事業])	256	○	◎
117		「病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思ったか		・事業の利用希望を把握		1. 病児・病後児保育施設等を利用したい 2. 利用したいとは思わない	■病児保育事業、子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター事業[病児・緊急対応強化事業])	506	○	◎
118		利用したかった日数/年	3日以内、4～5日、6～10日、11～15日、16～20日、21～25日、26～30日、31日以上		■病児保育事業、子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター事業[病児・緊急対応強化事業])	225	○	◎		
119		問23-3	病児・病後児を預ける場合、望ましい事業形態	・事業の利用希望を把握 ・今後の施策検討に活用	1. 他の施設(例:幼稚園・保育所等)に併設した施設で子どもを保育する事業 2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業 3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業 4. 自宅の近くで保育する事業 5. 最寄り駅に近い施設で子どもを保育する事業 6. その他()		637	○	○	
120			利用したいと思わない理由	・事業の利用希望を把握	1. 事前登録を知らなかったため 2. 子どもが病気の時は家庭での看病が可能であるため 3. 登録に手間がかかるため 4. 利用に際し不安・抵抗があるため 5. 利用料が高いため 6. 場所が不便なため 7. その他()			○	○	
121		この1年間に行った対処方法のうち、3～9を選んだ場合、本当は休んで子どもを看たかったか		1. 見たかった(その場合(3日以内、4～5日、6～10日、11～15日、16～20日、21～25日、26～30日、31日以上)) 2. 看ることが難しい			×	○		
122		子どもの病気やケガの時に保護者が仕事を休んで看る場合に難しいこと	・家庭での実態を把握	1. 子どもの看護を理由に休みがとれない 2. 自営業なので休めない 3. 休職日数が足りないで休めない 4. その他()			×	○		

種別の内、「◎」は必須項目(量の見込みの推計上必要な項目)(68項目)、「○」は任意項目(35項目)、「●」は市独自項目(89項目)

精査の内、「○」は設問に採用を検討(128項目)、「▲」は設問に入れるか悩ましい項目(14項目)、「×」は設問から除外を検討(50項目)

カテゴリ	NO	前回問番号	調査項目	設問のねらい	選択肢	量の見込みとの関係、備考等	前回調査回答数	精査	種別			
一時預かり等の利用	123	問24	日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不規則の就労等の目的で不規則に利用している事業	・事業の利用希望を把握	1. 一時預かり(私用など理由を問わずに保育所や幼稚園などで一時的に子どもを保育する事業) 2. 幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不規則に利用する場合のみ) 3. ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業) 4. 夜間看護等事業: トワイライトステイ(児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業) 5. 子どもショートステイ(施設で緊急一時的に子どもを預かる事業) 6. ベビーシッター 7. その他() 8. 利用していない	■幼稚園における在園児を対象とした一時預かり(預かり保育) ①1号認定による利用	1,105	○	◎			
	124		上記1~7もそれぞれの事業の利用日数		3日以内、4~5日、6~10日、11~15日、16~20日、21~25日、26~30日、31日以上	■幼稚園における在園児を対象とした一時預かり(預かり保育) ①1号認定による利用				96	○	◎
	125		問24の最上欄で、いずれの事業も利用していない理由	・事業の利用希望を把握	1. 特に利用する必要がない 2. 利用したい事業が地域にない 3. 事業の質に不安がある 4. 事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない 5. 空きがないなど利用したい時に利用しにくい 6. 利用料の負担 7. 自分が事業の対象者になるのかどうかかわらない 8. 事業の利用方法(手続き等)がわからない 9. その他()			○	○			
	126	問25	私用、親の通院、不規則の就労等の目的での事業利用の必要性	・事業の利用希望を把握	1. 利用したい 2. 利用する必要はない	■幼稚園における在園児を対象とした一時預かり(預かり保育) ①1号認定による利用	639	○	◎			
	127		私用、親の通院、不規則の就労等の目的での事業利用希望		(1)私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的(2)冠婚葬祭、学校行事(3)子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等(3)不規則の就労(4)保護者や家族の育児疲れ・不安(5)その他()	■幼稚園における在園児を対象とした一時預かり(預かり保育) ①1号認定による利用						
	128		上記(1)~(5)のそれぞれの事業の利用したい日数		3日以内、4~5日、6~10日、11~15日、16~20日、21~25日、26~30日、31日以上	■幼稚園における在園児を対象とした一時預かり(預かり保育) ①1号認定による利用						
	129	問26	保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことがあったこと	・子育ての実態を把握	1. あった 2. なかった	■子育て短期支援事業	1,161	○	◎			
	130		この1年間の対処方法		(1)(同居者を含む)親族・知人にみてもらった(2)短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)(3)(2)以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した(4)仕方なく子どもを同行させた(5)仕方なく子どもだけで留守番をさせた(6)その他()	■子育て短期支援事業				222	○	◎
	131		上記(1)~(6)のそれぞれの泊数		1泊、2泊、3泊、4泊、5泊、6泊、7泊、8泊、9泊、10泊以上	■子育て短期支援事業				177	○	◎
	132	問26-1	家族以外に子どもを泊りがけで預ける場合の困難度	・子育ての実態を把握	1. 非常に困難 2. どちらかというと困難 3. 特に困難ではない	□子育て短期支援事業	193	○	○			
	133		子どもを泊りがけで預ける場合の状況	・子育ての実態を把握	1. 身体的・精神的な負担や時間的制約が大きく心配である 2. 負担をかけていることが心苦しい 3. 子どもにとって良い環境であるか、少し不安がある 4. 身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる 5. その他()			×	●			
	定期預かり事業(仮称)こども誰でも通園制度)	134		定期預かり事業(仮称)こども誰でも通園制度)の利用希望	・事業の利用希望を把握	利用希望はない、週1日、週2日、週3日、週4日、週5日、週6日、週7日			○	●		
		135		定期預かり事業(仮称)こども誰でも通園制度)の利用希望開始時間・終了時間	・事業の利用希望を把握	(7時より前、7時台、8時台、9時台、10時以降)~(14時より前、14時台、15時台、16時台、17時台、18時台、19時台、20時台、21時以降)			○	●		
136			定期預かり事業(仮称)こども誰でも通園制度)の利用希望月	・事業の利用希望を把握	~3か月、4~6か月、7か月~1歳、1歳1か月~1歳6か月、1歳7か月~2歳、2歳1か月~2歳6か月、2歳7か月~3歳、3歳1か月以上			○	●			
137			定期預かり事業(仮称)こども誰でも通園制度)の利用希望先	・事業の利用希望を把握	1. 認可保育所 2. 家庭福祉員(保育ママ)(保育者の家庭等で子どもを保育する事業) 3. グループ型保育施設(共同実施型家庭的保育事業)(複数の家庭福祉員が同一の建物で子どもを保育する事業) 4. 事業所内保育施設(企業が主に従業員用に運営する施設) 5. 東京都認証保育所(東京都が定めた保育所基準を満たし、東京都が認証した施設) 6. 幼稚園 7. その他()			○	●			
138			定期預かり事業(仮称)こども誰でも通園制度)の利用を希望する理由	・事業の利用希望を把握	1. 私用(買物、習い事等)、リフレッシュ目的 2. 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等 3. 不規則の就労 4. 家族等の介護・看病 5. 保育士との定期的な育児相談 6. その他()			○	●			

種別の内、「◎」は必須項目(量の見込みの推計上必要な項目)(68項目)、「○」は任意項目(35項目)、「●」は市独自項目(89項目)

精査の内、「○」は設問に採用を検討(128項目)、「▲」は設問に入れるか悩ましい項目(14項目)、「×」は設問から除外を検討(50項目)

カテゴリ	NO	前回問番号	調査項目	設問のねらい	選択肢	量の見込みとの関係、備考等	前回調査回答数	精査	種別
放課後の過ごし方(学童クラブ)	139	問27	放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいか(低学年・高学年それぞれ)	・事業の利用希望を把握 ※国のモデル調査票と設計が異なる	1. 児童館2. あそびバ(放課後子供教室事業)3. 調布市立学童クラブ(市へ申請)4. 民間学童(民間事業所と個別に契約)5. 放課後等デイサービス6. 公園7. 自宅で親と一緒に8. 自宅で兄弟姉妹と一緒に9. 自宅で一人10. 祖父母・親戚宅11. 友人宅12. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)13. 図書館14. 地域の活動に参加15. ファミリー・サポート・センター16. トワイライトステイ17. その他()	■放課後児童健全育成事業 ■子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター)(就学児のみ)	1,141	○	◎
	140		低学年時 (1)学校終了時~17:00		1. 児童館2. あそびバ(放課後子供教室事業)3. 調布市立学童クラブ(市へ申請)4. 民間学童(民間事業所と個別に契約)5. 放課後等デイサービス6. 公園7. 自宅で親と一緒に8. 自宅で兄弟姉妹と一緒に9. 自宅で一人10. 祖父母・親戚宅11. 友人宅12. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)13. 図書館14. 地域の活動に参加15. ファミリー・サポート・センター16. トワイライトステイ17. その他()	■放課後児童健全育成事業 ■子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター)(就学児のみ)	1,076	○	◎
	141		低学年時 (2)17:00~19:00		1. 児童館2. あそびバ(放課後子供教室事業)3. 調布市立学童クラブ(市へ申請)4. 民間学童(民間事業所と個別に契約)5. 放課後等デイサービス6. 公園7. 自宅で親と一緒に8. 自宅で兄弟姉妹と一緒に9. 自宅で一人10. 祖父母・親戚宅11. 友人宅12. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)13. 図書館14. 地域の活動に参加15. ファミリー・サポート・センター16. トワイライトステイ17. その他()	■放課後児童健全育成事業 ■子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター)(就学児のみ)	1,002	○	◎
	142		低学年時 (3)19:00~		1. 児童館2. あそびバ(放課後子供教室事業)3. 調布市立学童クラブ(市へ申請)4. 民間学童(民間事業所と個別に契約)5. 放課後等デイサービス6. 公園7. 自宅で親と一緒に8. 自宅で兄弟姉妹と一緒に9. 自宅で一人10. 祖父母・親戚宅11. 友人宅12. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)13. 図書館14. 地域の活動に参加15. ファミリー・サポート・センター16. トワイライトステイ17. その他()	■放課後児童健全育成事業 ■子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター)(就学児のみ)	875	○	◎
	143		高学年時 (1)~17:00		1. 児童館2. あそびバ(放課後子供教室事業)3. 調布市立学童クラブ(市へ申請)4. 民間学童(民間事業所と個別に契約)5. 放課後等デイサービス6. 公園7. 自宅で親と一緒に8. 自宅で兄弟姉妹と一緒に9. 自宅で一人10. 祖父母・親戚宅11. 友人宅12. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)13. 図書館14. 地域の活動に参加15. ファミリー・サポート・センター16. トワイライトステイ17. その他()	■放課後児童健全育成事業 ■子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター)(就学児のみ)	1,057	○	◎
	144		高学年時 (2)17:00~19:00		1. 児童館2. あそびバ(放課後子供教室事業)3. 調布市立学童クラブ(市へ申請)4. 民間学童(民間事業所と個別に契約)5. 放課後等デイサービス6. 公園7. 自宅で親と一緒に8. 自宅で兄弟姉妹と一緒に9. 自宅で一人10. 祖父母・親戚宅11. 友人宅12. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)13. 図書館14. 地域の活動に参加15. ファミリー・サポート・センター16. トワイライトステイ17. その他()	■放課後児童健全育成事業 ■子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター)(就学児のみ)	1,003	○	◎
	145		高学年時 (3)19:00~		1. 児童館2. あそびバ(放課後子供教室事業)3. 調布市立学童クラブ(市へ申請)4. 民間学童(民間事業所と個別に契約)5. 放課後等デイサービス6. 公園7. 自宅で親と一緒に8. 自宅で兄弟姉妹と一緒に9. 自宅で一人10. 祖父母・親戚宅11. 友人宅12. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)13. 図書館14. 地域の活動に参加15. ファミリー・サポート・センター16. トワイライトステイ17. その他()	■放課後児童健全育成事業 ■子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター)(就学児のみ)	876	○	◎
	146	問28	「調布市立学童クラブ」を利用したい理由	・事業の利用希望を把握	1. 現在就労している2. 就労予定がある/求職中である3. そのうち就労したいと考えている4. 家族・親族などを介護しなければならぬ5. 病気や障害がある6. 学生である/就学したい7. その他()		631	○	●
	147	問29(1)	何年生まで学童クラブの利用希望があるか	・事業の利用希望を把握	1. 1年生の利用2. 2年生の利用3. 3年生の利用4. 4年生の利用5. 5年生の利用6. 6年生の利用		625	×	●
	148	問29(2)	利用希望時期(1年生のとき)	・事業の利用希望を把握	1. 通年2. 夏休みまで3. 春、夏、冬季休業中4. 夏休みのみ		606	×	●
	149		利用希望時期(2年生のとき)		1. 通年2. 夏休みまで3. 春、夏、冬季休業中4. 夏休みのみ		604	×	●
	150		利用希望時期(3年生のとき)		1. 通年2. 夏休みまで3. 春、夏、冬季休業中4. 夏休みのみ		598	×	●
	151		利用希望時期(4年生のとき)		1. 通年2. 夏休みまで3. 春、夏、冬季休業中4. 夏休みのみ		522	×	●
	152		利用希望時期(5年生のとき)		1. 通年2. 夏休みまで3. 春、夏、冬季休業中4. 夏休みのみ		466	×	●
	153		利用希望時期(6年生のとき)		1. 通年2. 夏休みまで3. 春、夏、冬季休業中4. 夏休みのみ		459	×	●
	154		土曜日の学童クラブの利用希望日数	・事業の利用希望を把握	利用希望はない、月1日、月2日、月3日、月4日以上			×	●
	155		土曜日の学童クラブの希望開始時刻・終了時刻		(7時より前、7時台、8時台、9時台、10時以降)~(14時より前、14時台、15時台、16時台、17時台、18時台、19時台、20時台、21時以降)			×	●
156		日曜日・祝日の学童クラブの利用希望	利用希望はない、月1日、月2日、月3日、月4日以上				×	●	
157		日曜日・祝日の学童クラブの希望開始時刻・終了時刻	(7時より前、7時台、8時台、9時台、10時以降)~(14時より前、14時台、15時台、16時台、17時台、18時台、19時台、20時台、21時以降)				×	●	
158		児童館の印象	・事業の印象を把握		1. 小学生が行くところ、2. 乳幼児が行くところ、3. だれでも自由に行くところ、4. 楽しく遊べる場所、5. つまらないところ、6. 自由に過ごせる場所、7. 安全な場所、8. その他()			○	●
159		児童館を知る機会	・事業の認知状況を把握	1. おたより、2. 友達のお勧め、3. インターネット、4. その他()			×	●	
160		児童館を利用する理由 児童館を利用しない理由	・事業の利用実態把握	1. 自由に行けるから、2. 幅広い交流ができるから、3. 仲の良い友達が利用しているから、4. 安全・安心して遊べる場所だから、6. 利用料がかからないから、7. その他()			○	●	
161				1. 利用方法や実態がよくわからないから、2. 友達が利用していないから、3. 公園など、他の場所で遊んでいるから、4. つまらないから、8. 仲の悪い人がいるから、9. 家にいる方がいいから、10. 保育園・幼稚園に行っているから、11. その他()			○	●	
162		児童館の開館時間をどう思うか	・事業の利用希望を把握	1. 適正、2. もっと長い時間利用したい、3. 日・祝日も利用したい、4. その他()			○	●	
163		児童館の行事についてどう思うか	・事業の利用実態把握	1. おもしろい、2. つまらない、3. 興味が無い、4. その他()			×	●	
164		児童館の子育てひろばを知っているか	・事業の認知状況を把握	1. 知っている、2. 知らない	子育て支援事業の認知度で既出		×	●	
165		児童館の子育てひろばを利用したことがあるか	・事業の利用実態把握	1. ある、2. ない	子育て支援事業の利用状況で既出		×	●	
166		児童館の子育てひろばで参加したことがある行事は	・事業の利用実態把握	1. 講座、2. 大型講座、3. サークル活動、4. お祭り、5. 季節の事業、6. その他()7. 参加したことはない			○	●	
167		児童館の子育てひろばでやってほしい行事は	・事業の利用希望を把握	1. 保護者が体験できること、2. 大人で遊ぶこと、3. 料理教室、4. 餅つき大会、6. その他()	選択肢が就学前児童向けか疑義		×	●	
168		放課後に困っていることは	・事業のニーズ把握	1. 保護者が家にいない、2. 一緒に遊ぶ友達がいない、3. 居場所がない、4. お金がない、5. その他()	選択肢が就学前児童向けか疑義		×	●	
169		あそびバの開館時間延長(18時まで)の利用希望	・事業の利用希望を把握	利用したい、利用しない	就学前児童向けか疑義		×	●	

種別の内、「◎」は必須項目(量の見込みの推計上必要な項目)(68項目)、「○」は任意項目(35項目)、「●」は市独自項目(89項目)

精査の内、「○」は設問に採用を検討(128項目)、「▲」は設問に入れるか悩ましい項目(14項目)、「×」は設問から除外を検討(50項目)

カテゴリ	NO	前回問番号	調査項目	設問のねらい	選択肢	量の見込みとの関係、備考等	前回調査回答数	精査	種別	
虐待についての認知状況	170	問31(1)	認知状況：「児童虐待の防止等に関する法律」(児童虐待防止法)		1.はい2.いいえ		1,165	○	●	
	171	問31(2)	認知状況：児童虐待を発見した場合の通報先	・児童虐待についての制度等の認知度を把握	1.はい2.いいえ		1,167	○	●	
	172	問31(3)	認知状況：虐待の心配があったら相談できる機関		1.はい2.いいえ		1,169	○	●	
	173	問31-1	児童虐待を発見した場合に利用したい通報先	・児童虐待についての制度等の認知度を把握	1.児童相談所2.子ども家庭支援センター「すこやか」3.市役所4.保健センター5.教育委員会の相談窓口6.保育園・幼稚園7.警察8.虐待ダイヤル189番9.その他()		1,163	○	●	
	174	問32	児童虐待について知っていること	・児童虐待についての理解度を把握	1.児童虐待を受けたと思われる子どもを発見したら、通告する義務がある 2.児童虐待の通告をした者の秘密は守られる 3.「オレンジリボン」は、児童虐待防止のシンボルマークである 4.児童相談所全国共通ダイヤルの番号は189である 5.子どもの前で夫婦喧嘩をすることが、児童虐待にあたること		996	○	●	
住環境・まちづくり	175		現在のお住まい	・家庭の住環境の把握	1.賃貸住宅(一戸建)2.賃貸住宅(集合住宅)3.持家(一戸建)4.持家(集合住宅)5.その他()			○	●	
	176		子育てをする上で住宅や住宅の周りの環境について、どのような点が重要か	・家庭の住環境の把握	1.住宅の広さ・間取り2.安全性や遮音性などの住宅の居住性能3.家賃4.子どもの遊び場・公園などの利便性5.周辺の道路の歩行時の安全性6.静かな環境や治安のよさ7.子どもを預かってくれる託児・保育所などの利便性8.幼稚園・小学校などの通園・通学の利便性9.通勤の利便性10.小児科などの医療機関への利便性11.親戚や近隣の人たちとのつながり12.その他()13.特にない			○	●	
	177		子どもの遊び場として、どのような場所を利用しているか	・家庭の住環境の把握	1.公園・児童遊園2.保育園・幼稚園等の園庭開放3.子育てひろば、児童館等、身近な地域における親子ひろば・交流の場4.自宅内5.友人宅内6.その他()			○	●	
	178		公園・児童遊園の利用頻度	・家庭の住環境の把握	1.ほぼ毎日2.週に2～3回程度3.週に1回程度4.月に1～2回程度				▲	●
	179		公園・児童遊園を利用しない理由	・家庭の住環境の把握	1.近隣に公園・児童遊園がない2.近隣の公園・児童遊園が狭い3.公園・児童遊園に魅力ある施設がない4.公園・児童遊園に緑や花が少ない5.公園のトイレが利用しづらい6.他の公園利用者のマナーが悪く遊びづらい7.その他()				▲	●
	180		公園・児童遊園に欲しい施設	・家庭の住環境の把握	1.広場2.遊具3.ベンチ4.水飲み5.トイレ6.植栽等のみどり7.その他()				▲	●
家庭での体験の状況	181		家庭での体験の状況	・家庭での体験の状況の把握	1.アウトドア(海水浴やキャンプ、山、川等)に行く、2.博物館・科学館・美術館等に行く、3.スポーツ観戦や劇場や映画館に行く、4.図書館に通うなど読書活動をしている、5.遊園地やテーマパークに行く、6.ファミリーレストラン等で外食をする7.いずれもない(ない場合(ない理由(金銭的な理由、時間の制約、その他()))			○	●	
子どもの体験の状況	182		子どもの体験の状況	・子どもの体験の状況の把握	1.毎月お小遣いを渡す、2.毎年新しい洋服・靴を買う、3.習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる、4.学習塾(オンラインのものを含む。)に通わせる(または家庭教師に来てもらう)、5.誕生日のお祝いをする、6.1年に1回程度家族旅行に行く、7.クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる、8.子どもの学校行事などに親が参加する、9.本や電子機器(スマートフォン、ゲーム機等)を買う(している10.川や海、山に遊びに行く等自然体験をしている12.いずれもない(ない場合(ない理由(金銭的な理由、時間の制約、その他()))			○	●	
子どもの権利や子ども条例についての認知状況	183		子どもの権利についての認知度・希望 ※要解説	・認知度の把握	1.まったく知らない2.言葉だけ知っている3.知っている			○	●	
	184		調布市子ども条例の認知度・希望 ※要解説	・認知度の把握	1.まったく知らない2.言葉だけ知っている3.知っている			○	●	
	185		子どもにとって大切だと思う子どもの権利	・子どもにとっての重要視される権利を把握	1.差別されないこと2.悪口を言われたり、仲間はずれにされたりしないこと3.子どもにとって一番よいことは何か考えてくれること4.安心して生きること5.自分が学びたい通り学んで、成長すること5.自分の意見を自由に答えること6.子ども同士で集まったり一緒に何かをするためのグループを作ったりすること7.親から叩かれたり、ひどい目にあわされたりしないこと8.病院に行ったり、健康を守ってもらえたりすること8.生活のためのお金が足りない時に、国から助けてもらうこと9.愛されて幸せな生活を送ること10.心や体が十分に成長する教育を受けること11.休んだり遊んだりすること12.スポーツや芸術を楽しむ活動に参加すること13.戦争に巻き込まれないで平和に生活すること			○	●	
その他	186		子ども・子育てについて考えたとき、困っている事柄(フリー入力)	・自由意見		自由意見に包含		×	●	
	187	問33	行政や関係機関の取組として必要または重要と思われる子育て支援策	・今後の施策検討に活用	1.子育て相談の充実2.子ども同士、高齢者などとの交流の機会の充実3.地域社会全体で子どもたちを見守り育てていく体制づくり4.バランスのよい食生活に関する知識の普及5.母子保健の充実6.一人ひとりの個性や特徴を尊重した幼児教育7.自然や文化とのふれあい、人との付き合い方を学ぶための体験活動の充実8.小児医療の充実や乳幼児医療費の助成制度の拡充9.交通マナーの向上などの交通安全啓発活動10.防犯意識の啓発活動11.ひとり親家庭への支援12.障害のある子どもと家庭への支援13.児童虐待の防止・発見・対応14.乳児保育、延長保育などの拡充15.家庭と仕事が高立できるような、各種支援事業の周知16.労働時間改善など、企業や事業主へのはたらきかけ17.公共施設や公園などの安全性の確保18.バリアフリーのまちづくり19.その他()		1,159	○	●	
	188	問34	調布市における子育ての環境や支援への満足度	・子育て環境の評価	満足度が低い 1 2 3 4 満足度が高い		1,157	○	●	
	189		これまでに引越しを検討するほど魅力的と思った子ども・子育て支援、教育施策(他の自治体含む)はどのようなものがあったか。	・自由意見	フリー入力?			○	●	
	190		調布市における子育てを続けていくにあたり、魅力となる要素	・自由意見	フリー入力?			○	●	
191	問35	自由意見	・自由意見	課題→改善(解決)策		454	○	○		